

# 再度山香荘問題をたぐす

諸遊議員

町長

## 提言を尊重する



【諸遊】 3月議会の否決を受け、フットボールセンター建設への今の思いは。

【町長】 否決は残念だった。提案した者としての責任を痛感している。否決という結果の重みを感じている。

【諸遊】 町民の代表



住民による大山北麓活性化検討委員会

で構成されている検討委員会、また、議会から出る提案の中から、今後の山香荘の活性化をはかるのか。

【町長】 検討委員会、議会からの提言で再度フットボールセンター整備ということになれば、そういう方向性も出てくる。

【諸遊】 再度フットボールセンターを推進されるのであれば、町民に信を正すため、町長の職を辞して建設の賛否を問う考えがあるか。

【町長】 持ち合わせではない。

# 大山北麓活性化策は？

岩井議員

町長

## 意欲の高い人に協力を願う



進ちよく状況は。

【町長】 基本的に新しい発想やすぐれた取り組みの手法の範囲を絞ることは考えていない。活性化の方策は、委員の意向を最大限に尊重して決定する。

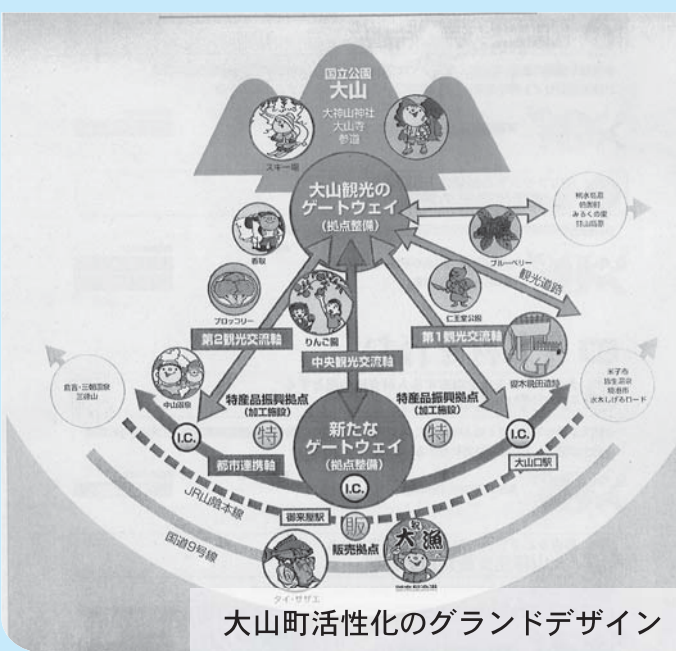
【観光商工課長】 検討委員会は、5回目まで活発に意見交換が行われている。中心は名和地域

養施設の今後になるが、あくまでも大山北麓の活性化案の提言があると思っている。今決めて今行なうべきこと、将来にわたって検討し続けていくことなど、要望を具体化していく。その中で、県内外を問わず意見を参考にすることがあると考えている。

【岩井】 大山北麓エリア活性化策の提言の募集を町内在住、在勤とした理由は。

【町長】 大山町の活性化で、住民の意見を聞くため設置した検討委員会であるため、町内在住、在勤にした。

【岩井】 町外、県外からの民間活用を考えは。検討委員会の



大山町活性化のグランドデザイン